

「オルガンブランド」で、世界に知られる
繊維用針のリーディングカンパニー。

ORGAN NEEDLE CO., LTD.

代表取締役社長
増島 良介

仕事をしていく上で、自分自身の仕事の意味を理解し、当事者意識をもって取り組むことが重要であると考えています。世界を市場に持っているため、海外へ出向く機会も多くあります。文化や習慣も異なる多様な人たちと仕事を進めることが多いだけに、互いの価値観を認め、熱い情熱をもって仕事ができる人を求めます。

企画管理本部
人事部 人事課
小林 勇輝

現在、人事課に所属し、新卒採用業務や社員教育の企画運営を担当しています。新卒での就活は一生に一度きり。こだわりを持って活動しましょう。入社したい企業のことはよく勉強して、粘り強く行動することが大切です。就職がゴールではなく、社会に出てからがスタートです。先のビジョンを見据えて、活動して欲しいと思います。

企業の強み

- ・ ミシン針をはじめ、メリヤス針(ニット等を機械で編む時に使う針)、フェルト針(不織布を作る針)等の「繊維用針」を製造販売するメーカー。2012年にはグループ会社であった「オルガンテクニクス株式会社」を吸収合併し、電子部品の製造販売も手掛ける。
- ・ 製造機械や治工具のほとんどを自社で開発・製造すると共に、開発から販売まで一貫して手掛ける垂直統合型のビジネスモデルを展開している。
- ・ 繊維用針の市場は国内よりも海外に広く、製品の輸出比率は約9割を占める。

目指す企業の姿

- ▶ **経営理念** ・ 「独自技術をもつ針造り企業である歴史を尊びながら、自ら市場と社会の要請を洞察して、誠実に対応する。この企業活動が、企業と社員、そしてお客様の成長・豊かさにつながり、良い循環を産み出していく、そういう企業でありたい」
- ▶ **経営戦略** ・ 市場競争において、オルガンブランドの製品が他社とは違うと認識されるためには、価格の優位性だけではなく、「製品そのものの質が違う」ことが必要である。そのため、当社では、製品のクオリティを高く維持する完璧な品質保証体制を構築しており、機能性や耐久性など、あらゆる品質を高める努力を惜しまないことが重要であると考えている。
- ▶ **将来ビジョン** ・ 東京オリンピックが開催される2020年に一世紀企業(創業100年)となる。長い歴史で培った信頼と実績を維持しながら、会社の構造をこれまで以上に充実させ、さらなる躍進への地盤固めに努める。
・ 電子部品に関しても、針業界で培ったグローバルなネットワークを活かし、世界規模での事業拡大を目指していく。

基礎情報

事業内容 繊維用針・電子部品の製造と販売
所在地 長野県上田市前山1番地
資本金 3億円
従業員数 450名
設立 1950年
売上高 76億6,000万円
初任給 大学院卒▶212,080円
大学卒▶202,100円
福利厚生 共済会制度充実(財形貯金、住宅資金、各種慶弔金)、持株会、クラブ活動(各種スポーツ、写真、ヨガ等)
休日・休暇 年間休日118日 GW、夏期(お盆)、年末年始、ろまん休暇、リフレッシュ休暇等制度充実

最近の雇用状況

	22年度	23年度	24年度
採用人数	5	5	0



和やかな取材風景



自社製品群

学生から見た魅力

働きがい

★生産から販売まで一貫して行うだけでなく、製造機械や治工具まで自社で造り出す企業は珍しいと思う。それだけに、開発の幅が広く、やりがいも大きいのではないかと感じた。

職場の雰囲気

★社員の皆さんが仕事に、製品に、お客様に対して、真摯に向き合っている印象を受けた。
★取材は終始にこやかな雰囲気で行われ、アットホームな雰囲気を感じた。

将来性

★衣食住の「衣」を支える繊維用針の業界は、専門的であるが、安定して需要のある業界。新たに電子部品も取り扱うなど、長期的かつ着実に規模を拡大していくのではないかと感じた。